

# デジタルものづくり推進のためのデータ基盤に関する国際標準化

## 事業概要

## 標準化分野

事業略称	デジもの	期間	2018～2020	予算元	野村総研	事業形態	再委託
概要	<p>ものづくり(生産過程)では、グループ企業内/企業間でのデジタルデータ利活用が活発に行われている。今後は、ものづくりの下流工程や下流領域を担う中小企業等へのデジタルデータの活用の拡がりが予想される。</p> <p>本事業では、<b>3D産業データにおける製品の製造可能性・製造関連情報の品質確保に向けた国際標準の規格開発</b>を実施する。</p>						
ゴール	<p>解析・加工・製造・保守(下流工程)での製品品質に焦点を当てた規格ISO 10303-59 ed3 を開発する。 ※ISO 10303 : オートメーションシステム及びインテグレーション - 製品データ表現方法及び交換</p>						

## 主な活動項目

2019年度 計画 [予算 : 42.5百万円]	2019年度 取組実績 [実績 : 42.5百万円]
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 製品データ品質(PDQ) ISO 10303-59 ed3のCD開発</li> <li>✓ メカ・電気・ソフト融合によるデジタル検証技術に関する調査・実証実験およびデジタル検証に関するTRの提案</li> <li>✓ 三次元図面にて非接触測定プロセスの実証実験</li> <li>✓ 標準の利用/活用に関する欧米ベンチマーク調査、クラウド環境基盤技術調査</li> </ul> <p>※ TR : Technical Report CD : Committee Draft</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>ISO 10303-59 ed3のCD開発</b> 5月仏・11月米国際会議にて規格審議、<b>CD投票中</b>(2月～4月)。2020年秋に日本での国際会議を計画したが、延期</li> <li>✓ <b>メカ・電気・ソフト融合によるデジタル検証技術</b> 5月仏国際会議にて<b>TR提案</b>を実施、<b>承認→TR開発中</b></li> <li>✓ <b>三次元図面にて非接触測定プロセス</b> 電機・電子の代表的な3部品(モールド、切削、金属3Dプリンター)で、非接触測定を実施し、<b>手順書を改定</b></li> <li>✓ 欧米ベンチマーク調査、<b>クラウド環境基盤技術</b> 欧米ベンチマーク参画方法・クラウド環境要件について<b>調査</b></li> </ul>

ISO制定ステップ

Step1提案 : NP

Step2作成 : WD

Step3委員会 : CD

Step4提案 : DIS

Step5承認 : FDIS

Step6発行 : IS